



TOP
JAPAN

ULTIMATE EJECTION BLOWBACK AEG

AR15/M16 Series

M16 EBB

取り扱い説明書



ご使用になる前に最後まで必ずお読みください。

対象年齢18歳以上です。使用、管理共に18才未満の方はしないでください。

当製品に使用するリチウムポリマーバッテリー（リポバッテリー）は小型で大変便利ですが取扱を間違えると大変危険です。ご使用になれる前にバッテリーと充電器の説明書をお読みになって十分にご理解の上使用してください。

当製品指定専用バッテリーはTOP JAPAN製11.1V 850mAh Hight Power Lithium Polymer Battry

もしくは、TOP JAPAN製11.1V 1000mAh Hight Power Lithium Polymer Battry

専用充電器はTOP JAPAN製NEW Compact Lipo Balance Chargerです。

誤った使用方法や指定外のバッテリーや充電器を使用しての事故、故障については当社では一切の責任を負いません。

人や動物、壊れやすい物に銃口を向けないでください。

不用意に引き金を引かないでください。撃つとき以外は引き金に触れないでください。

本製品を持ち出す際は必ずライフルケース又は付属のライフルバッグに入れて持ち運んでください。

射撃時以外はセレクターを常にSAFE（安全）位置にしておいてください。

どのような時でも絶対に銃口を覗かないでください。

使用するときには目を保護するため必ずゴーグル等を着用してください。

満充電した当社指定専用バッテリー11.1V 850mAhでの最大発射可能弾数はフルオートで約1000発セミオートではその3分の1の数になります。これ以上射撃を続けるとバッテリーが過放電を始める恐れがありますので常に余裕を持って射撃を終了し充電をしてください。過放電してしまったバッテリーは使用できない状態になる恐れがあります。

当製品はバッテリーを接続した状態で通電を開始します。

使用時以外は必ずバッテリーとマガジンを抜きセレクターをSAFEの位置にしておきライフルケース又は付属のライフルバッグに入れて子供の手の届かない所に保管してください。

チャージングハンドルを引いての装填、ボルトキャッチを使用しての装填、イージーチャージングシステムを使用しての装填、いずれの装填方法においてもセレクターがSEMI又はAUTOの位置にありトリガーを引いたまま装填しますとボルトが戻った瞬間から作動を開始しBB弾が入っていれば発射されてしまいます。

装填時はセレクターをSAFEの位置にして射撃の直前まではトリガーに触れないでください。

排莢不良、装填不良等のカートリッジを排除する際にボルトに指等を挟まないように注意してください。

射撃後でもカートリッジにBB弾が残る場合があります。

構造上マガジンを抜いてもチャンバーに弾が残っている場合があります。

一度使用したBB弾は弾詰まり等のトラブルの原因になります。必ず新品のBB弾をご使用ください。

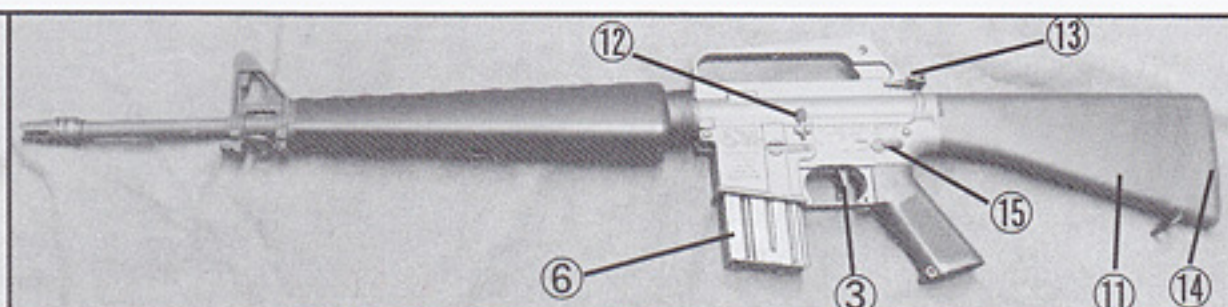
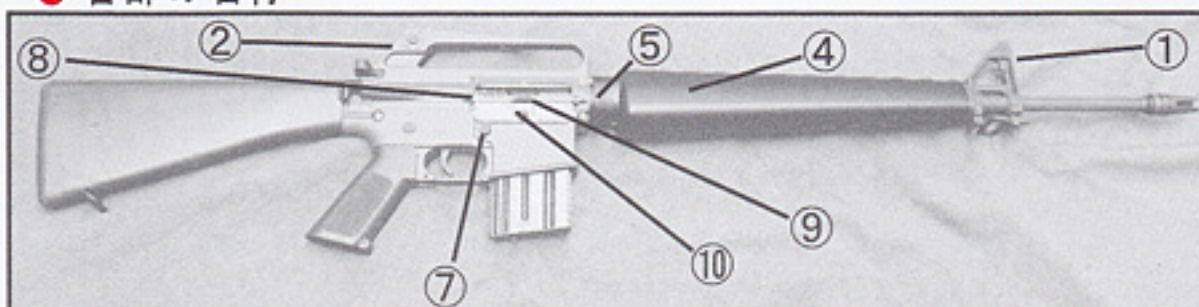
当製品は非常に繊細な構造をしています。むやみに分解をしないでください。

防水機能はございません。絶対に水に濡らさないでください。

各部品の角が尖っている場合がありますのでケガに注意してください。

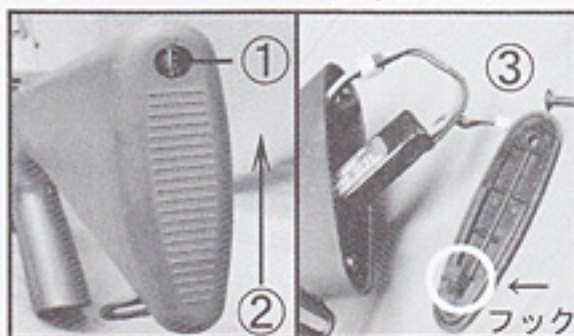
パワーアップ等の改造は銃刀法に抵触する恐れがありますので絶対にしないでください。

● 各部の名称



①フロントサイト ②リアサイト ③トリガー ④ハンドガード ⑤デルタリング ⑥マガジン ⑦マガジンキャッチ ⑧エジェクションポート ⑨ボルト
⑩ダストカバー ⑪ストック ⑫ボルトキャッチ ⑬チャージングハンドル ⑭バットプレート ⑮セクター

● バッテリーの接続方法



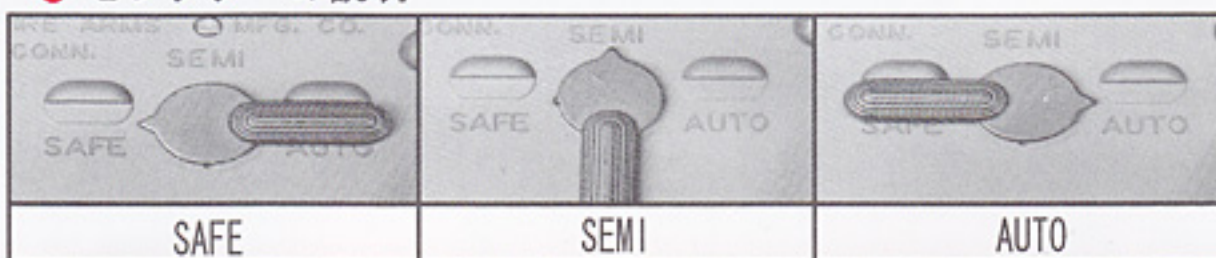
●バットプレートを外します。
①のバットプレートスクリューをマイナスドライバーを使用し外します。
②バットプレートは裏側下部にフックがあり止まっていますのでバットプレート自体を上スライドさせてフックを外してから取り外します。
③バッテリーと本体の接続コネクター端子の向きに注意して接続し、ストック内にバッテリーを収納します。
バットプレートを外した時の逆の順番で取り付けます。



注意

バッテリー接続時にコードを強く引張ったり、バッテリーを必要以上に強く押し込まないでください。
使い始めは接続が少々きつめな場合があります。逆接続防止用のコネクターカバーは外さないでください。
バッテリーの取付、取り外し時にはコネクター、コネクターカバーのプラスチック部分を持って行ってください。
絶対にコードを持ち引張らないでください。断線やショート等事故の原因になる可能性があります。
損傷や異常な状態のあるバッテリーは絶対に使用しないでください。
使用中に異臭や発熱等の他、異常を感じましたら即座に使用を中止してください。

● セクターの説明



SAFE セーフ 安全位置	トリガーを引く事が出来ません
SEMI セミオート (単発)	トリガーを引くと1発ずつ弾が出ます
AUTO フルオート (連発)	トリガーを引いてる間連続して弾が出ます



注意

全てバッテリーが接続されている場合です。
バッテリーが接続されていない場合はSEMI、AUTO共に1発撃つ度に手で装填、排莢をしなければいけません。
セクターが正常位置にない場合思わぬ動作をする事がございますので注意してください。

● カートリッジへのBB弾の入れ方



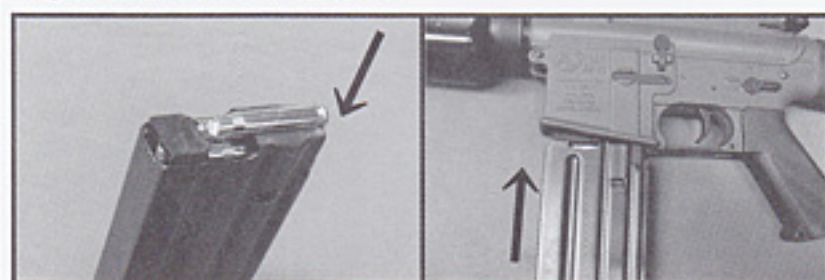
カートリッジ1発につき6mmBB弾を1発入れる事が出来ます。
先端の細くなっている方にBB弾を力を入れず落とすように入れてください。
BB弾を入れる前にシリコンオイルを塗布してください。
シリコンオイルが塗布されていないと弾詰まりを起こす場合があります。



注意

BB弾を入れる時に強く押し込みますと弾詰まりや作動不良の原因になります。
シリコンオイルを使用しますので埃や汚れが付きやすくなります。
埃や汚れが付いたままですと弾詰まりや装填不良などの作動不良の原因になりますので定期的にクリーニングをしてください。
カートリッジは消耗品です。傷や変形等の場合は新しいカートリッジをお求めください。

● マガジンのセット



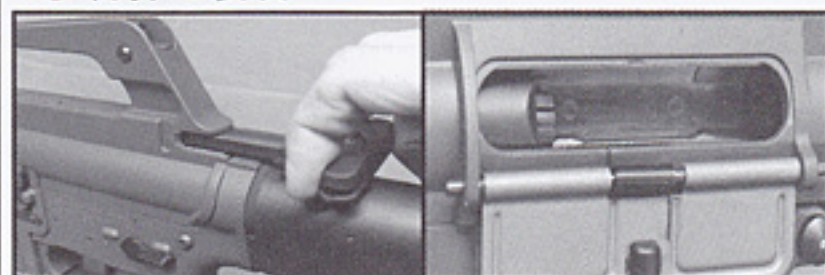
BB弾を入れたカートリッジの前後の向きを間違えないようにしてガジンに入れます。
カートリッジが逆向きに入っているとボルトが閉鎖不良を起こしカートリッジが痛んでしまいます。
マガジンを入れる時にBB弾をこぼさない様に注意してください。
マガジンにはカートリッジが20発入れる事ができます。
カートリッジを入れたマガジンを上下前後に気をつけて本体にセットします。



注意

20発以上入れますと故障の原因になりますので絶対にしないでください。
使い始めは動きが渋い事があります。カートリッジとマガジンフォロアにシリコンオイルを塗布してください。
マガジンの上下前後を間違えてセットすると破損、故障の原因になります。
バッテリーが接続されている状態でマガジンをセットしますと最初のスイッチが入りモーターへの通電する準備に入りますので使用時以外はマガジンを抜いておいてください。
保管するときはマガジンからカートリッジを抜いておいてください。
マガジンスプリングが弱くなりますと装填不良の原因になります。

● 初弾の装填



バッテリーとマガジンをセットできましたらセクターがSAFEの位置にある事を確認してからチャージングハンドルを後ろまでいっぱい引いてください。
いっぱいまで引いたらそのまま放し勢いよくボルトを戻してください。
ダストカバーが閉じていても連動して開きます。
ボルトが完全に閉鎖し初弾が装填できましたら射撃準備は完了です。



注意

チャージングハンドルをロックするレバーごと握み完全に解除しないで引くと破損の原因になりますので注意してください。
チャージングハンドルをゆっくり戻すと装填、閉鎖不良の原因になります。
カートリッジが正常に装填できなかった場合、一度マガジンを抜いてから再度チャージングハンドルを引き装填不良を起こしたカートリッジを取り除いてください。
チャージングハンドルを引いただけで取り除けない場合は後述のジャミングの排除方法で取り除いてください。

● イージーチャージングシステム

当製品ではあまり力を使わずに簡単に装填が出来るイージーチャージングシステムが搭載されています。バッテリーとカートリッジを入れたマガジンを装填した状態でセクターをSEMI又はAUTOの位置にしておいてチャージングハンドルを数センチ引いて放すだけで初弾の装填が可能です。



このシステムを使用する時はセクターをSEMI又はAUTOの撃発位置にしないと作動しませんので、不用意にトリガーに指をかけないでください。

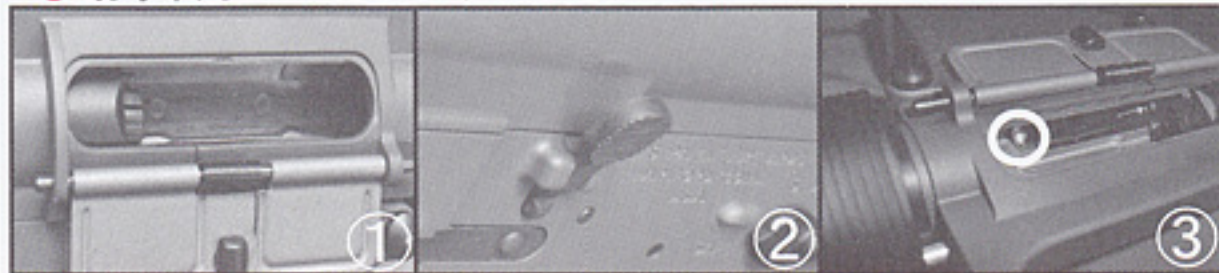
● 射撃

初弾が装填できたら周りの安全を充分に確認してからセクターをSEMI、又はAUTOの位置に動かします。この状態からトリガーを引けば射撃する事が出来ますので撃つ直前まではトリガーに指をかけないでください。



トリガーを引いてもBB弾が発射されずボルトも作動しない場合はチャージングハンドルを引くときに適正位置まで引けてない場合がありますので再度初弾の装填からやり直してください。

● 射撃終了・マガジンチェンジ



全弾撃ち終わるとボルトキャッチが作動してボルトが後退位置で止まります。画像①② カートリッジを装填済みのマガジンに交換すれば続けて射撃する事が出来ます。その際の初弾装填はボルトキャッチを押してボルトを前進させる事で出来ます。射撃を終了する場合はチャンバーにカートリッジが残っていないかを確認し、マガジンを抜いてからボルトキャッチを押してボルトを前進位置に戻して終了します。



製品の構造上、最終弾発射後もピストンがコッキング状態で作動が終了します。性能の維持と内部の保護のため最後に空撃ちをして必ずピストンを開放してください。チャージングハンドルでの初弾の装填、マガジン交換からの装填共に銃口を水平から下に向けて行うとBB弾がカートリッジからこぼれてしまう事があります。銃口を水平より上方に向けて行うと回避する事が出来ます。使用したカートリッジは正常に排出されていても弾詰まりなどでBB弾が発射できずに残っている物があります。射撃終了後は使用したカートリッジの異常の有無とBB弾が残っていないかを必ず確認してください。BB弾がカートリッジ内に残っていた場合カートリッジだけのつもりでもBB弾が発射されてしまいます。

● 装填、排莢不良（ジャミング）の解決方法



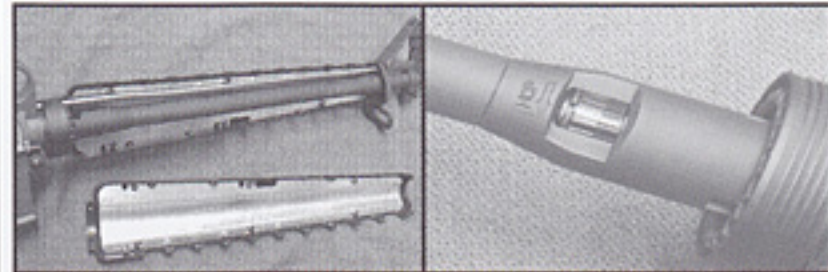
装填時、射撃中にカートリッジが正常に装填、排莢されない場合があります。これは実銃でも発生するジャミング、ジャムと言う状態です。カートリッジを使用している銃では避けられないアクシデントで故障ではありません。装填、排莢時に発生しましたらマガジンを抜きチャージングハンドルを引き排莢されなかったカートリッジを取り除き再度マガジンを本体にセットして装填からやり直してください。チャージングハンドルを引いて

取り除けない場合はボルトキャッチを使用しボルトを後退位置に固定した状態で取り除いてください。この時エジェクションポートやマガジン挿入口から指を入れるのは大変危険です。本体やカートリッジを傷めない材質の物でカートリッジのリム（後端部分）に引っ掛けて排除してください。



ジャムを起こしたカートリッジは破損変形のおそれがありますので再利用する場合はよくチェックしてください。カートリッジを装填する際にBB弾がこぼれボルトの開鎖不良を起こす場合があります。ジャムなどで動作不良になった場合一度マガジンを抜いて初弾の装填の操作をし直さないと内部のスイッチ、センサーにリセットがかからずに通電を再開しません。カートリッジ内にBB弾が詰まりピストンが前進できない状態の時ボルトを引くとエアが抜けて急作動する場合があります。

● ホップシステムの調整方法



M16 EBBには発射されるBB弾に回転を与え飛距離をのばすホップアップシステムが搭載されています。調整方法はデルタリングを後ろに引き左右ハンドガードを外します。アウターバレル根元の太くなっている部分の下側にホップアップ調整ダイヤルがあります。このダイヤルを矢印方向に回す事によって強くホップをかける事が出来ます。矢印とは逆の方向に回すとホップを弱める事が出来ます。どちらも回転が止まる所がありそこがホップアップの最強、最弱になります。



ホップアップを強くかけ過ぎて弾詰まりが発生した場合は、直ちに射撃を止めホップアップ調整ダイヤルを最弱位置にしてバッテリーを使用せずエアコッキング式で2〜3発撃って詰まった弾を取り除いてから再調整してください。BB弾が取り除けない場合市販されているクリーニングロッドなどを使用し取り除いてください。使用後、保管時はホップダイヤルを最弱位置にしてください。これを怠るとホップアップパッキンが変形し調整不能になります。

● メンテナンス（通常分解）

性能を維持するためクリーニング等のメンテナンスをしてください。

ある程度使用していると命中精度が落ちる等の不具合を感じるかもしれません。これはカートリッジのメッキが剥がれた物や埃等の汚れがインナーバレル内やボルトヘッドに付着するためです。定期的にメンテナンスをする事で解消する事が出来ます。



カートリッジの入っていないマガジンを銃本体にセットした状態でチャージングハンドルを引きボルトキャッチを効かせ後退位置で止めておきます。エジェクションポート前方にフロントピボットのネジを外しピボットピンも抜きます。（図①）チャージングハンドルがレシーバーにロックされていない状態でアッパーレシーバーを前方に抜き取ります。（図②③）ローレシーバーからアッパーレシーバーを外しますとチャージングハンドルが取れますので注意してください。アッパー、ローレシーバーが外れましたらアッパーレシーバーからチャンバーとインナーバレルがセットになった物が抜き取る事が出来ます。組立は分解と逆の順序でおこないます。インナーバレルのクリーニングする時は市販されているエアソフトガン用のバレルクリーニングロッドを使用してください。チャンパーパッキンやホップパッキンを傷めてしまわないようにクリーニングの時は十分注意してください。ボルトヘッドに付いている埃は市販のエアーダスターを使用しエキストラクター裏は木製の楊枝を曲げるなどして誇り等をおとしてください。エキストラクター裏のクリーニングする時は金属等の硬い物を使用して傷を付けてしまいますとトラブルの元になりますので必ず柔らかい物をしてください。組立時にダストカバーがローレシーバーに引っかかってしまいうまい開かない場合がありますので注意して組立てください。



メンテナンスをおこなう前に必ずバッテリーを抜いてBB弾が残っていないか確認してください。これ以上の分解は部品の破損や微細な部品の紛失、作動不良の原因になりますので絶対にしないでください。カートリッジのメッキが剥がれるのは作動上の磨耗で故障や不良品ではありません。長く使用し磨耗したカートリッジは排莢不良が多発する原因になります。当社製カートリッジの使用以外しないでください。特に金属製カートリッジの使用は製品寿命を著しく損ないますので絶対に使用しないでください。

本製品ではバッテリーを使用しなくてもコッキング式エアガンとしてチャージングハンドルを1回引けば1発の射撃が可能です。この場合セクターがSEMI、AUTOどちらの位置にあってもセミオート、フルオートでの射撃は出来ません。またイージーチャージングシステムも作動しません。1回のコッキングで1発の射撃しか出来ません。

●トラブルシューティング

作動しない	トリガーを引いても動かない。	初弾装填動作をおこなってください
	セクターがSAFEの位置にある	セクターをSEMIかAUTOの位置にする
	バッテリーのコネクターが外れている	バッテリーを正しく接続してください
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換してください 使用ヒューズは市販されているミニブレッドヒューズ20Aです 交換後は元のように絶縁してください
	正常にカートリッジが排出されていない チャンバーにカートリッジが詰まりボルトが閉鎖しきらない	装填・排莢不良（ジャミング）の解決方法の項目を参照して カートリッジを取り除いて再装填してください
	モーターが動かない	ボルトの閉鎖不良を確認し正常ならモーター接点、配線、もしくは本体回路の異常等が考えられますので点検、修理を受けてください
	バッテリーが充電されていない	正しく充電出来ない場合バッテリー、充電器のトラブルの可能性があります バッテリーチェッカー等を使用し正常な状態かチェックしてください 異常がありましたら使用しないでください
モーターは動いているが カートリッジ、BB弾がでない	マガジン内でカートリッジが詰まっている	一度カートリッジを全て抜いてカートリッジとマガジンをクリーニングしてください 落としたりして変形したマガジンはトラブルの原因になります マガジンに変形等の異常が見られましたら別売りのスペアマガジンを使用してください
	カートリッジ内にBB弾が残っている	一度BB弾を抜きカートリッジにシリコンオイルを塗布しBB弾を入れる時に強く押し込んだりしないでください
	カートリッジが変形している	排莢不良、装填不良を起こしたカートリッジは変形している可能性があります 特に先端部が著しく変形してしまうとBB弾を入れる事が出来ません 別売りスペアカートリッジをしようしてください
	内部から異常な作動音がする	モーターは回っているがガリガリと削れている様な音がしている時はギアトラブルが考えられます 点検、修理を受けてください
発射サイクルが落ちてきた ボルトが動かない	バッテリーの電力不足	すぐに使用を中止してバッテリーチェッカー等をしようし状態をチェックしてください 正常でしたら充電してください 異常が見られましたらそのバッテリーは使用しないでください
セミ、フルオート共に 射撃が出来ない	ボルトの閉鎖不良	チャンバーにBB弾や異物が詰まっているとボルトが正常位置（閉鎖位置）に戻りませんチャンバーを確認してください BB弾がカートリッジ装填時にこぼれて落ちてしまい干渉している場合がありますので確認してください
正常に装填出来ているのに BB弾だけ発射して ボルトが作動しなかった	スイッチタイミングのズレ センサーの誤作動	稀にスイッチタイミングが正常な状態からズレてしまうことがあります BB弾発射後ボルトが作動しない事があります バッテリーが正常に接続されているかヒューズは切れていないかを確認後一度マガジン抜いてセクターをSAFEの位置にして装填の最初からやり直してください
水に濡れてしまった	危険な状態です	すぐに使用を中止して感電に注意して水気を拭きとりバッテリーを外してください 本体内外、バッテリーの水気を完全に除去し十分に乾燥させた後バッテリーをチェックし異常があるようなら絶対に使用しないでください 異常が見られずに本体と接続し作動チェックをした時に異音、異臭、発熱が無い必ず確認してください 本体の誤作動、作動不能、等の異常がみられましたら点検修理を受けてください バッテリーに異臭、発熱等の異常が見られましたらそのバッテリーは絶対に使用しないでください

作動不良等の故障を起こした場合にはお買い求めいただきました販売店又は当社アフターサービス部までご連絡、お預けいただけますようお願いいたします。修理依頼品を直接アフターサービス部までお送りいただく場合は、

①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号（連絡の取り易い番号）、⑤メールアドレス、⑥FAX番号、⑦製品名、⑧故障内容（なるべく詳細に）を明記しましたメモを必ず添えてください。

修理期間は時期により変わりますので事前にお問い合わせください

修理品の往復送料は基本的にお客様のご負担になりますのでご了承ください。

安全性に問題のある改造品、カスタムパーツ組み込み等の分解、改造の形跡が見られる製品は修理をお受けできません。

ULTIMATE EJECTION BLOWBACK AEG

AR15/M16 Series
M16EBB

全長 約990mm
重量 約2300g
装弾数 20発 弾丸 6mmBB弾
初速 約80m/秒 前後 発射サイクル約780発/分 前後
電源 TOP JAPAN 11.1v High Power Lithium Polimer Battely(別売)



〒131-0031 東京都墨田区墨田2-8-7

TEL 03-3612-5539

E-mail: ebbsupoort@top-airsoft.co.jp